

令和7年度の主な事業について

基本理念		基本目標	施策	取組
スポーツがはぐくむ 輝く埼玉	目標1 すべての県民にスポーツを ～誰もが生涯に渡る充実したスポーツライフを～	【指標1】週に1回以上スポーツをする成年の県民の割合 ・スポーツ・レクリエーション活動を週に1回以上する 成年の県民の割合（スポーツ実施率） 65.0%以上	施策1 スポーツ実施率の低い女性、働く世代・子育て世代のスポーツ機会の充実	(1) 女性のライフステージに応じたスポーツの機会の提供 (2) 働く世代・子育て世代のライフスタイル、ニーズに応じたスポーツの機会の提供促進 (3) スポーツ科学を活用したスポーツ実施率の向上促進
		【指標2】子供のスポーツ意欲 ・中学校を卒業した後、自主的に運動やスポーツをする時間を 持ちたいと思う県内中学2年生の割合 85.0%以上	施策2 子供・若者のスポーツ活動の充実	(1) 学校体育の充実 (2) 学校運動部活動の充実と地域クラブ活動への移行に向けた支援 (3) 地域におけるスポーツ活動の充実 (4) スポーツを通じた青少年の健全育成
		【指標3】パラスポーツの推進 ・彩の国ふれあいピックの参加者数 4,500人以上	施策3 パラスポーツの機会の充実	(1) 障害に応じたスポーツの機会の創出 (2) パラスポーツの推進
		目標2 多彩なスポーツの機会創出 ～県民一人一人がスポーツの価値を享受～	施策4 スポーツを通じた高齢者の健康増進・生きがいづくり	(1) 高齢者がスポーツに気軽に参加できる場や機会の充実 (2) 第38回全国健康福祉祭(ねんりんピック)さいたま大会(仮称)の開催 (3) スポーツを通じた健康増進・健康長寿社会の実現
		【指標4】スポーツを現地で観戦した割合 ・過去1年間に県内で行われたスポーツ大会やスポーツの試合 (プロ・アマ問わず)を実際に会場で観戦する機会があった県民の割合 50.0%以上	施策5 スポーツを支える基盤づくり	(1) スポーツの機会を提供する多様な担い手の育成・連携推進 (2) スポーツを支える担い手が活躍する場の充実 (3) スポーツ・レクリエーションの場・施設の整備推進 (4) スポーツに関する情報発信の強化 (5) スポーツにおけるDXの推進
	目標3 県民に夢と希望を与える 埼玉トップアスリートの輩出 ～スポーツ先進県埼玉の更なる発展～	【指標5】スポーツに関するボランティアに参加した割合 ・スポーツイベントやスポーツの指導への協力等、スポーツに 関するボランティア活動を行っている県民の割合 10.0%以上	施策6 スポーツを楽しむことができる 多様な機会の創出	(1) 身近で気軽にスポーツに親しめる機会の充実 (2) 多彩なスポーツ大会、イベントの誘致・開催 (3) プロ・トップスポーツチーム等を身近に感じる機会の拡大
		【指標6】アスリートの活躍（国内） ・国民体育大会（国民スポーツ大会）における天皇杯（男女総合成績） 3位以上	施策7 スポーツ科学によるアスリート （パラアスリート含む）の競技力向上	(1) 競技スポーツ人口の拡大及びアスリートの発掘・育成・強化支援 (2) アスリートの競技力向上支援 (3) アスリートの競技継続支援 (4) プロ・トップスポーツチーム等と連携した支援の充実 (5) 支援体制の強化 (6) 屋内50m水泳場、スポーツ科学拠点施設の整備推進
		【指標7】アスリートの活躍（国際） ・国際大会における埼玉県ゆかりの選手の8位以上の 年間延べ入賞者数 500人以上	施策8 スポーツ・インテグリティ及び 安全・安心の確保	(1) スポーツ団体の組織力・ガバナンス強化 (2) スポーツ団体のコンプライアンスの徹底・スポーツにおけるハラスメントの防止 (3) スポーツ・インテグリティの促進・ドーピングの防止 (4) スポーツ事故・スポーツ障害の防止
		目標4 社会におけるスポーツの力の発揮 ～スポーツを通じた活力のある社会の実現～	施策9 スポーツを通じた共生社会の実現	(1) 女性の活躍 (2) パラスポーツの普及、裾野拡大 (3) 国際交流の促進
		【指標8】プロトップスポーツチーム・トップアスリートとの 連携 ・プロ・トップスポーツチームやトップアスリートと県との 連携事業数 72件以上	施策10 スポーツを通じた地域の活性化	(1) スポーツを核とした魅力ある地域づくり (2) プロ・トップスポーツチームやトップアスリートとの連携・協働による地域振興 (3) スポーツの成長産業化

令和7年度の主な事業について

基 本 目 標	施 策
目標1 すべての県民にスポーツを ～誰もが生涯に渡る充実した スポーツライフを～	施策1 スポーツ実施率の低い女性、働く世代・子育て世代のスポーツ機会の充実施策 施策2 子供・若者のスポーツ活動の充実 施策3 パラスポーツの機会の充実 施策4 スポーツを通じた高齢者の健康増進・生きがいづくり

令和7年度事業概要

- 多彩なスポーツイベントの開催 58,119千円**
- (1) スポーツフェスティバルの開催 8,952千円
- ・県民総合スポーツ大会の開催支援のために助成金を交付
 - ・県民自由参加型のイベントとして、スポーツフェスティバルを実施
- (2) 彩の国ふれあいピックの開催 12,147千円
- ・彩の国ふれあいピック春季大会の開催
(個人競技・全国障害者スポーツ大会の予選を兼ねる)
 - ・彩の国ふれあいピック(秋季大会)の開催
(障害者のスポーツ参加のきっかけづくりのためのイベント)
 - ・彩の国ふれあいピック球技大会の開催
(団体競技・全国障害者スポーツ大会の予選を兼ねる)
- (3) 秩父宮杯自転車道路競走大会・埼玉県駅伝の開催 4,200千円
- ・広く県民がスポーツを「する」「みる」「ささえる」機会となる大会を開催

令和6年度の主な実績

- (1) スポーツフェスティバルの開催
- ・スポーツフェスティバル2024in熊谷
令和6年9月22日(日)
延べ参加者数 9,723人
 - ・スポーツフェスティバル2025in宮代
令和7年3月8日(土)
参加者数 60人
- (2) 彩の国ふれあいピックの開催
- ・彩の国ふれあいピック春季大会
参加者・役員：1,098名
 - ・彩の国ふれあいピック(秋季大会)
参加者・役員：約4,000名
 - ・彩の国ふれあいピック球技大会
参加者・役員：1,779名
- (3) 秩父宮杯自転車道路競走大会・埼玉県駅伝の開催
- ・秩父宮杯：令和6年9月8日(日)
参加者数：579人
 - ・埼玉県駅伝
中学校の部：令和6年11月2日(土)
一般等の部：令和7年2月2日(日)
参加チーム数：中学校の部：126チーム
一般等の部：101チーム

令和7年度の主な事業について

基 本 目 標	施 策
目標1 すべての県民にスポーツを ～誰もが生涯に渡る充実した スポーツライフを～	施策1 スポーツ実施率の低い女性、働く世代・子育て世代のスポーツ機会の充実施策 施策2 子供・若者のスポーツ活動の充実 施策3 パラスポーツの機会の充実 施策4 スポーツを通じた高齢者の健康増進・生きがいづくり

令和7年度事業概要	令和6年度の主な実績
-----------	------------

- (4) eスポーツイベントの開催 32,820千円
- eスポーツ普及イベント
- ・プロeスポーツプレイヤー等によるエキシビションマッチの開催
 - ・初心者向けeスポーツ体験会の開催
- 県内スポットのオリジナルコース、マップの制作
- ・VRサイクルアプリのオリジナルコースや人気eスポーツタイトルのオリジナルマップの作成
 - ・県民に馴染みのあるスポットを登場させるなど、初心者や未経験者がeスポーツを始めやすい、継続しやすいコンテンツを提供
- 気軽にeスポーツを体験できる機会を提供
- ・ファミリー層が多数訪れる県庁オープンデー、既存スポーツイベント等においてeスポーツ体験会を併催

- (4) eスポーツイベントの開催
- 3カ所会場同時接続eスポーツ普及イベント
- ・eスポーツ大会
 - ・プロ選手らによるエキシビションマッチ
 - ・初心者向けeスポーツ体験会 等
- 県内スポットのオリジナルコース、マップ
- ・バーチャルサイクリングのオリジナルコース制作（川越・秩父）
 - ・フォートナイトのオリジナルマップ制作（川越）
- eスポーツトレーニングキャンプ
- ・元プロeスポーツ選手やプロチームの元コーチが指導するトレーニングキャンプ



令和7年度の主な事業について

基 本 目 標	施 策
目標2 多彩なスポーツの機会創出 ～県民一人一人がスポーツの価値を享受～	施策5 スポーツを支える基盤づくり 施策6 スポーツを楽しむことができる多様な機会の創出

令和7年度事業概要	令和6年度の主な実績
スポーツ施設の整備推進 4, 272, 516千円 (1) 屋内50m水泳場の整備 4, 058, 210千円 ・ 屋内50m水泳場の整備、運営・維持管理 4, 040, 037千円 屋内50m水泳場の整備、運営・維持管理（PFI事業）に係る事業者への対価 ・ PFI事業のモニタリング 18, 173千円 建設工事の実施状況や、事業者の経営状況のモニタリングを適正に行うため、専門的な知識、ノウハウ、経験等を有するコンサルタントに支援業務を委託 (2) スポーツ科学拠点施設の整備 27, 563千円 ・ Park-PFI手法により上尾運動公園東エリアと一体的に整備することとしていた基本計画を見直し、競技力向上施設と体育館を中心に、導入機能や整備手法等を検討 ・ あわせて、競技力向上施設と既存施設との相乗効果が生み出せるよう、公園西エリアの施設や県立武道館等と連携した、上尾運動公園の再整備に向けた調査・検討 (3) 県立武道館の大規模改修 186, 743千円 ・ 長期保全計画に基づき、各道場の床張替や照明のLED化等、内装や設備の大規模改修工事を実施 ・ 改修後の再オープン予定日：令和7年8月1日（金）	(1) 屋内50m水泳場の整備 月2回の会議等を通じて事業者と設計業務に関する協議を行うとともにモニタリングを実施 令和7年2月に準備工事に着手するとともに、3月には建築確認済証を取得し、本工事に着手予定 (2) スポーツ科学拠点施設の整備 Park-PFI手法による事業者の公募が不調となったことを受け、サウンディング調査を実施し、事業の見直しを実施 (3) 県立武道館の大規模改修 令和6年8月に施工業者と工事請負契約を締結し、9月に着工（工期：令和6年9月2日（月）～令和7年7月31日（木）、工事期間中は休館）

令和7年度の主な事業について

基本目標	施策
目標2 多彩なスポーツの機会創出 ～県民一人一人がスポーツの価値を享受～	施策5 スポーツを支える基盤づくり 施策6 スポーツを楽しむことができる多様な機会の創出

令和7年度事業概要

スポーツに関する情報発信の強化 18,744千円

- (1) スポーツチーム試合観戦の促進
スポーツチーム観戦・応援WEBアプリ「すぽったま！」により、
県内スポーツチームの情報を一元的に発信し、試合観戦を促進
- ・観戦前後の飲食・買い物に便利な周辺の飲食店等の情報を掲載
 - ・チームや選手の魅力を発信するインタビュー記事を制作し、オリジナルコンテンツを充実
 - ・現地試合観戦でポイントをためて、賞品に応募できる
スマホスタンプラリーを対象チーム数を拡大して実施
(掲載情報)
県内スポーツチームのニュース、試合情報、お得なチケット情報、
試合会場アクセス情報、試合会場周辺の飲食店情報等
- (2) 県内で開催される国際試合のPR
国際試合のPR動画を作成しアプリ等で発信することで
当該試合への興味・関心を喚起



多彩なスポーツイベントの開催 58,119千円(再掲)

令和6年度の主な実績

- スポーツに関する情報発信の強化
(1) スポーツチーム試合観戦の促進
WEBアプリ「すぽったま！」の運用
- ・本オープン
10月29日
 - ・参加チーム数
11競技21チーム(3月18日現在)
 - ・チームコラボ企画実施
7チーム13件(3月18日現在)
- スマホスタンプラリーの実施
- ・実施期間
令和6年12月27日～令和7年3月17日
 - ・スタンプラリー対象チーム
14チーム
- (2) 県内で開催される国際試合のPR
- ・熊谷スポーツ文化公園ラグビー場で開催された男子ラグビー日本代表戦を「すぽったま！」でPR
 - ・埼玉スタジアム2002で開催された男子サッカー日本代表戦を「すぽったま！」でPR

令和7年度の主な事業について

基本目標	施策
目標3 県民に夢と希望を与える 埼玉トップアスリートの輩出 ～スポーツ先進県埼玉の更なる発展～	施策7 スポーツ科学によるアスリート（パラアスリート含む）の競技力向上 施策8 スポーツ・インテグリティ及び安全・安心の確保

令和7年度事業概要

アスリートの競技力向上支援 53, 172千円
スポーツ科学を活用したトップアスリート輩出・支援事業
・県ゆかりのアスリートが健常者・障害者ともに、国内主要大会・国際大会において活躍するために、スポーツ科学を活用した発掘・育成から強化支援まで一貫したサポート体制を整備

項目	内容
発掘・育成	【健常者】年代に応じた発掘・育成を実施 >小学生：多様な競技体験等により競技特性の発見 >中学生：競技別専門トレーニングの実施 【障害者】障害種別に応じた発掘・育成を実施 >体験会・測定会による競技とのマッチング >発掘した人材を競技団体等で育成
強化支援	強化指定選手に認定し、スポーツ科学を活用した専門家によるサポート等を実施
その他	強化指定選手の認定証交付式や練習会などを健常者・障害者合同で開催することにより、選手間のモチベーション向上、交流機会の創出



強化指定選手の
認定証交付式



強化指定選手



競技別
専門トレーニング



専門家による個別指導

スポーツ施設の整備推進 4, 272, 516千円（再掲）

令和6年度の主な実績

- 発掘
 - ・プラチナキッズ
対象：小学4年生 合格者：46名（倍率：17.4倍）
 - ・プラチナジュニア
対象：小学6年生、中学1・2年生 合格者：32名（倍率：10.0倍）
 - ・プラチナエース発掘のための競技体験会・体力測定会
対象：特別支援学校等の児童・生徒及びリハビリテーションセンター利用者等（先天性の障害だけでなく中途障害も含め広く募集）（計49名）
- 育成
 - ・プラチナキッズ（小学5・6年生62名）：多様な競技体験等
 - ・プラチナジュニア（中学1～3年生41名）：競技専門トレーニング等
 - ・プラチナエース：県内競技団体等の育成活動を支援（将来活躍が期待される能力の高い選手）
- 強化
 - ・プラチナアスリート 強化指定選手に指定（健常者30名、障害者20名）スポーツ科学を活用した専門家によるサポート
- 合同開催
 - ・プラチナキッズ・ジュニア・アスリートの認定証交付式
 - ・健常者障害者アスリートの合同練習会（ローイング競技・陸上競技）
- 競技継続
 - ・競技継続のための就職サポート
選手登録11名 企業登録6社 マッチング 4件（採用1件）

令和7年度の主な事業について

基本目標		施策
目標4 社会におけるスポーツの力の発揮 ～スポーツを通じた活力のある社会の実現～		施策9 スポーツを通じた共生社会の実現 施策10 スポーツを通じた地域の活性化

令和7年度事業概要	令和6年度の主な実績
-----------	------------

共生社会の実現に向けた取組 24,668千円

- (1) 女性の活躍
- WEリーグと連携した埼玉女子サッカー気運醸成事業 3,011千円
- 「知事杯」イベント実施事業
- 埼玉ダービー戦の観客動員のため体験型イベントをチームと協力して実施
- WEリーグ3チームと連携した女性活躍推進事業
- 選手のパーソナリティがわかるPR記事や動画の制作
- (2) パラスポーツの普及、裾野拡大 21,657千円（一部再掲）
- パラスポーツが身近になる環境づくり事業費 8,455千円
- パラスポーツイベントの開催（ボッチャ交流大会等）
 - 県内学校を対象としたパラスポーツの体験・交流会の開催
 - パラスポーツ活動団体への助成
- 彩の国ふれあいピック等開催費 13,202千円（一部再掲）
- 彩の国ふれあいピックの開催（再掲）
 - 地域のパラスポーツ指導員等の育成

スポーツを通じた地域の活性化の取組 4,349,379千円（再掲）

- 多彩なスポーツイベントの開催 58,119千円（再掲）
- スポーツ施設の整備推進 4,272,516千円（再掲）
- スポーツに関する情報発信の強化 18,744千円（再掲）

- (1) 女性の活躍（WEリーグと連携した埼玉女子サッカー気運醸成事業）
- 選手トークショー等イベント開催（浦和L）
 - ランウェイキッズ等イベント開催（EL埼玉）
 - 親子サッカー教室開催（大宮V）
- (2) パラスポーツの普及、裾野拡大
- パラスポーツイベントの開催
 - （ゴールボール体験会：13名）
 - （ボッチャ交流大会：予選1,712名、当日予選117名）
 - （車いすラグビー体験&トークショー：105名）
 - （デフアスリートによる陸上競技体験会：5名）
 - 県内学校を対象としたパラスポーツの体験・交流会の開催
 - （小中学校：12校、高校大学：6校）
 - パラスポーツ活動団体への委託
 - （団体数：10団体）
 - パラスポーツ用具の購入
 - スポーツ施設等へ整備・活用
 - （購入用具：聴覚障害者用スタートランプ、ボッチャ用具、競技用車いす等）
 - 地域のパラスポーツ指導員等の育成及び活動支援
 - （初級指導員養成講習会：21名）